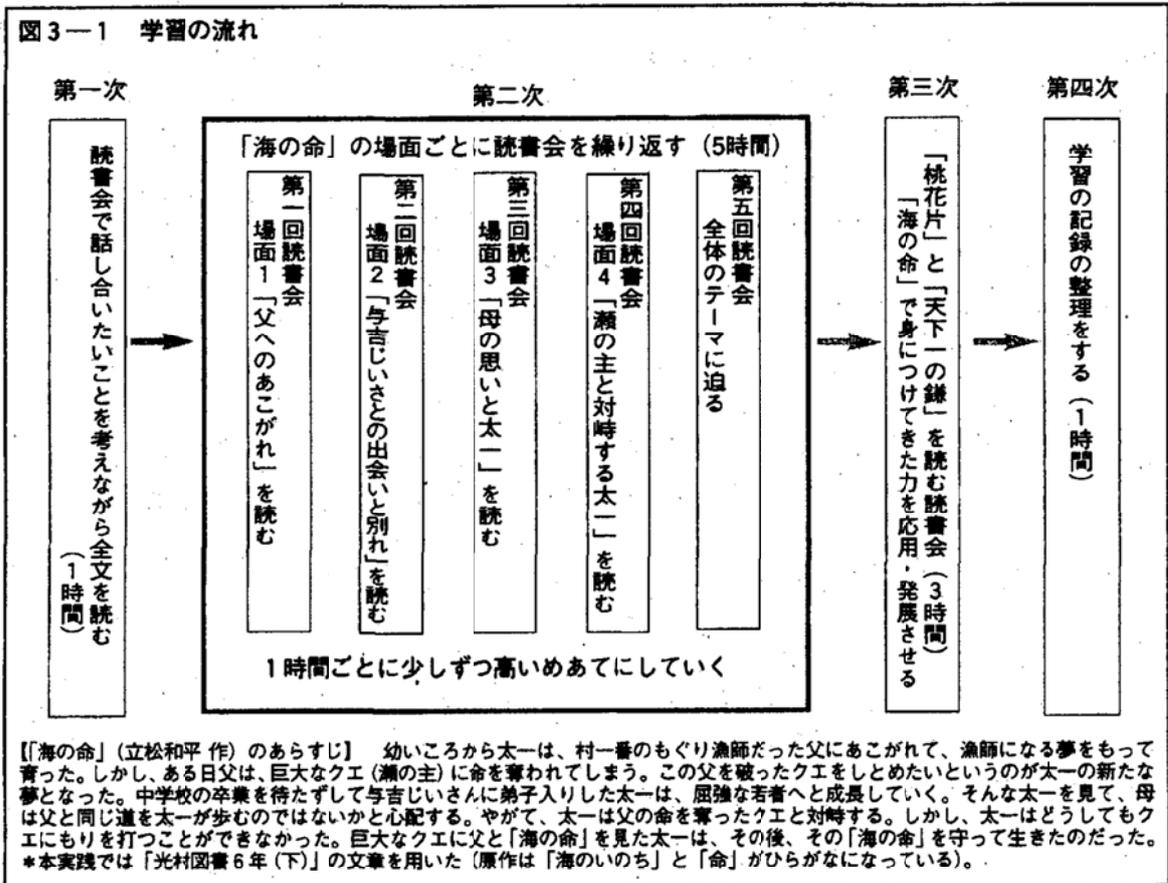


資料6. 小学校国語科における話し合いの課題（「読書会」とルーブリック

（宮本浩子・西岡加名恵・世羅博昭『総合と教科の確かな学力を育むポートフォリオ評価法 実践編』日本標準、2004年）

①



②

資料3-6 ●第2回読書会の台本型手引き（視点④）（和恵・10月10日）

B	C	A	C	D	A	C	B	C	B	A	B	A	B	D	C	A	C	B	A
<p>読書会台本型手引き②の④ 海の命（場面2） 名前</p> <p>作者は場面2をとおして何を伝えたいのだろう。海で生きるとは・・・</p> <p>「海で生きる」として与吉じいさはいったけれど、海で生きるってどういふことなんだろう。たった二十四匹しかとらずに与吉じいさは本当に満足していたのだろうか。</p> <p>「魚を自然に遊ばせたい」ということもわたしは分からない。</p> <p>商品や食料をとっていると言うんじゃないかと、命を分けてもらっている（みうな）魚といっしょにくらしている。命を分けてもらっていることをしているという気持ちを感じられるよ。</p> <p>千匹に一匹というところも、命を分けてもらってすまないなあっていう感じ。Dちゃんも？</p> <p>「海で生きる」って海を征服することでも、力にまかせてやりたい放題、自由にすることでもないんだね。</p> <p>この「すまない」って気持ちなんでも言えはいいんだらう。優しいとか、思いやりがあるって感じとはまた違う。</p> <p>でも、自分をちっぽけにみて、卑屈になっているんでも、自信をなくしているのでもないね。</p> <p>そう、海に支配されている。自分の意志で生きられない人間の存在。っていうのでもないんだ。それ、その逆、海を支配するでもない。身を任せている。依存している。頼っている。</p> <p>ううん、身を任せているっていうのは合うような気がする。でも頼っているというよりは、信じている。尊敬しているって感じかな。</p> <p>確信ってことかな。</p> <p>力強さやたくましさも感じられる。</p> <p>それに、本当に海のことを大事に思い、愛している。Dちゃんもそう思う。</p> <p>二十匹とると片づけるってことも重なる。与吉じいさは二十匹でありがたく思っている。感謝している。</p> <p>あつ、そうか。感謝というの海で生きるものなんだね。</p> <p>その後、10行目に「海に知りませんか」とあるでしょ。この繰り返しという言い方も海に生きる姿が表れている。</p> <p>生と死じゃなくて、ずっと生き続けているってのがあがるね。見守ってくれているような。</p> <p>人は海からきて、海に帰っていく。海に命のみながあるような。</p>																			

3

資料3-16●読書会を進める力のルーブリック

<p>5 すばらしい</p>	<p>○生き生きと話し合いに参加し、積極的に意見を述べている。互いの意見を関連づけて意見を述べたり、疑問に思ったことを投げ返したりしながら、話し合いを深めようとしている。話し合いのメンバーにも配慮することができ、発言をうながしたり、声をかけたりするなど、司会者的な役割を果たしている。話し合いの中で、自分の考えが深まっていく楽しさを自覚している。</p> <p>○学習の記録に、物語の核心に迫るような読みや、自分の生き方に引きつけて考えた意見・感想などが書かれている。話し合いの様子や成長だけでなく、読書会の良さについても自分なりに考えたことが書かれてる。目次やタイトルなど、学習の記録の整理に工夫が見られる。</p> <p>○話し合いを観察していた友達からの評価も高く、評価規準の高いレベルにある相互評価カードを多くもらっている。</p>
<p>4 よい</p>	<p>○話し合いにおける発言回数がだんだん増えてきている。台本型手引きのことはまねながら、話し合いを整理したり、話題を転じたりするために発言しようとしている。発言の少ない者への声がけをしようとしている。</p> <p>○学習の記録に、自分の物語の読みがどう深まってきたのか、読書会での話し合いの様子はどうか成長したかということが記されている。学習の記録が手順に従い整理されている。</p> <p>○話し合いを観察していた友達から、多くの相互評価カードをもらっている。</p>
<p>3 普通</p>	<p>○20分程度の読書会を続け、言うべきときには意見を述べるができる。相手の発言に関心をもって聞き、質問したり感想を述べたりして、相手の発言にかかわっている。</p> <p>○学習の手引きに示されたことをもとに、自分が物語をどう読んできたか、読書会での話し合いの様子はどうかであったかということが書かれている。学習の記録が手順に従い整理されている。</p> <p>○友達から相互評価カードをいくつかもらうことができている。</p>
<p>2 あと一歩</p>	<p>○読書会の初めのうちは単発的に感想を述べることはできるが、中盤以降は、なかなか話し合いの中に入っていけない。友達に促されて意見を述べることもあるが、周囲の友達や教師の助けが必要である。</p> <p>○学習の記録が不揃いで、(何について話し合ったかという)読書会記録等が書かれていない部分がある。ここがよかった、ここがおもしろかったといったような単発的な内容が記されている。</p> <p>○「前の時間より発言が増えた」といったような、毎時間の成長を認める相互評価カードはもらっているが、授業のねらいに応じたより高いレベルの相互評価カードはもらえていない。相互評価カードの数も少ない。</p>
<p>1 努力が必要</p>	<p>○話し合いの場に座って友達の話を聞いているが、友達の発言に反応したり、自分から発言したりしていない。</p> <p>○学習の記録がほとんど整理されたり、書かれたりしていない。</p> <p>○相互評価カードがほとんどもらえていない。</p>